

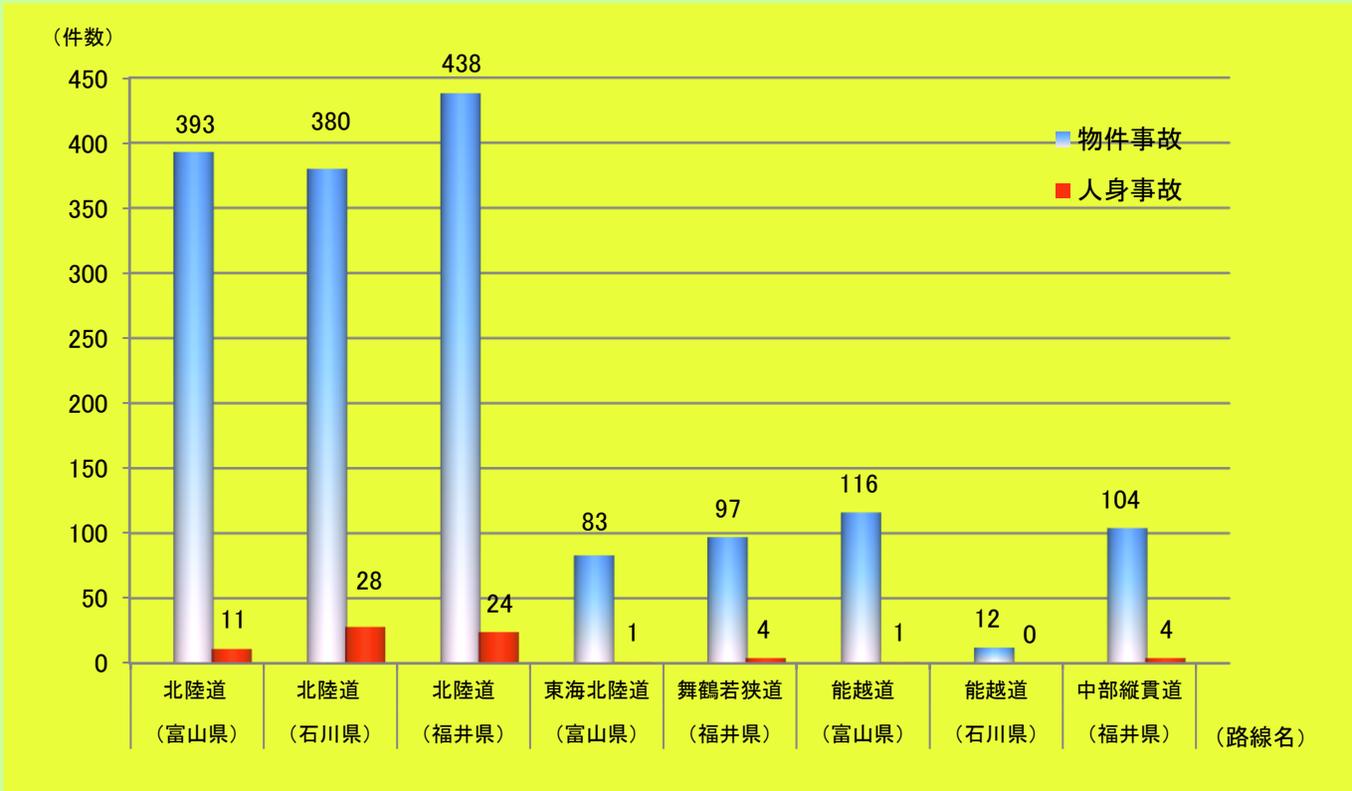
令和5年の交通事故発生状況

(於：北陸三県高速道路)

	人身事故			物件事故
	件数(内死亡事故)	死者数	負傷者数	件数
富山県	13 (1)	2	18	592
石川県	28 (0)	0	49	392
福井県	32 (1)	1	55	639
合計	73 (2)	3	122	1623

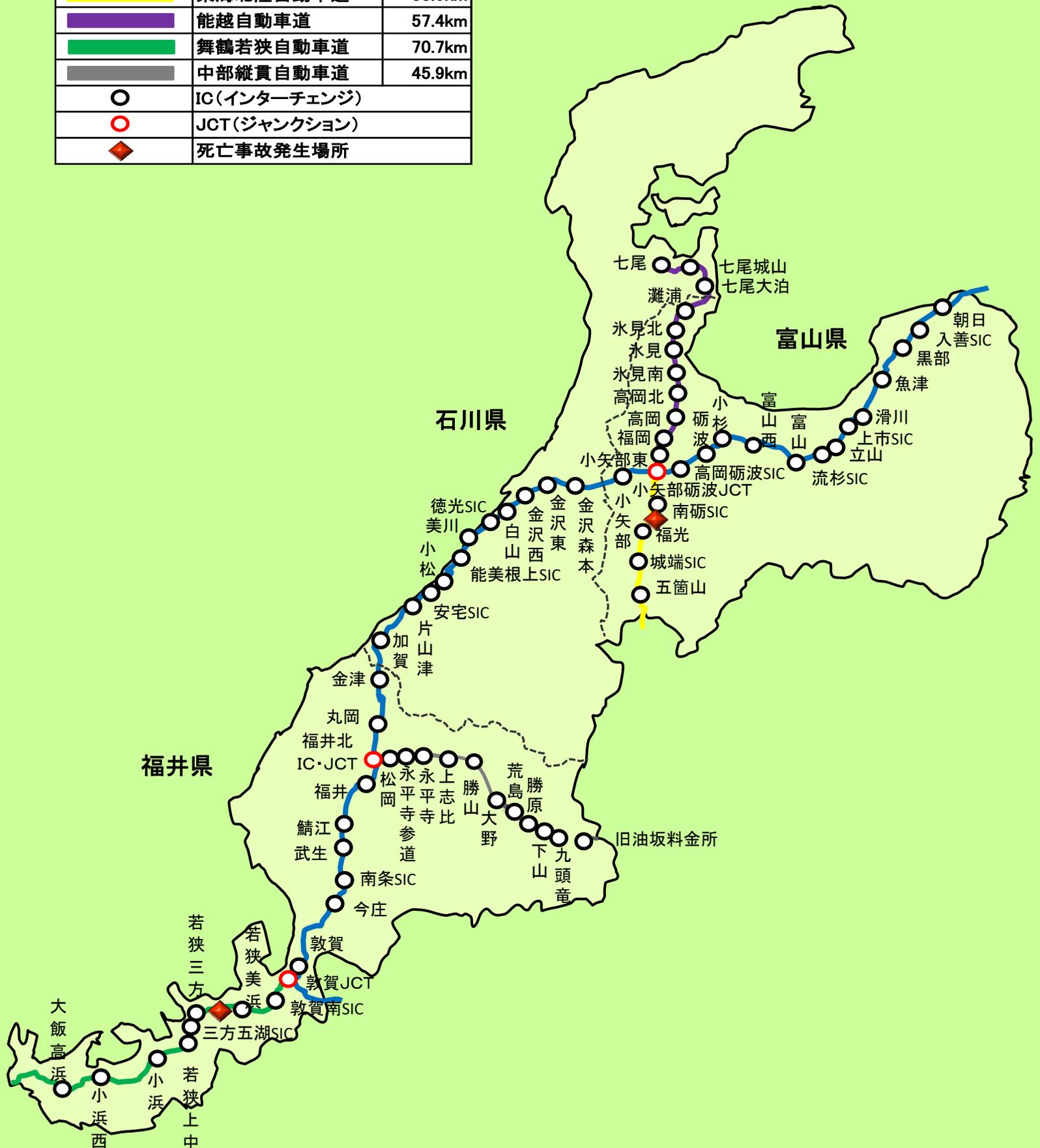
令和5年中、北陸三県(富山・石川・福井)の高速道路では交通事故が
1696件 (うち死亡事故は2件)発生しました。

路線別発生状況



死亡事故の発生状況(令和5年中)

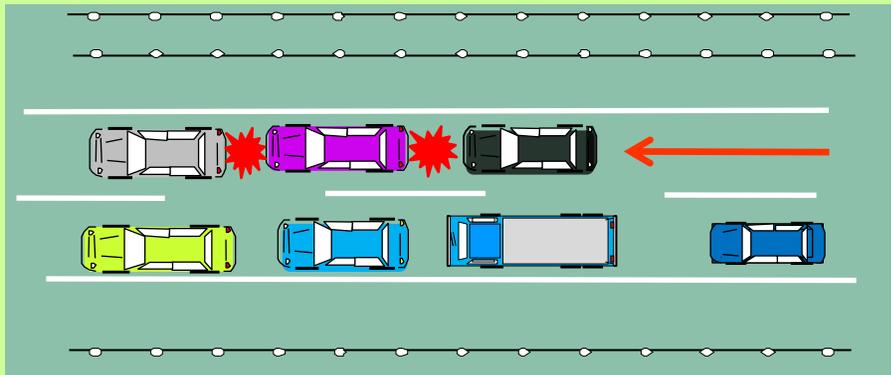
	北陸自動車道	255.3km
	東海北陸自動車道	33.0km
	能越自動車道	57.4km
	舞鶴若狭自動車道	70.7km
	中部縦貫自動車道	45.9km
	IC(インターチェンジ)	
	JCT(ジャンクション)	
	死亡事故発生場所	



高速道路の交通事故の特徴

① 車両相互の事故の多くが追突事故

渋滞後尾や渋滞の中で多発しています。

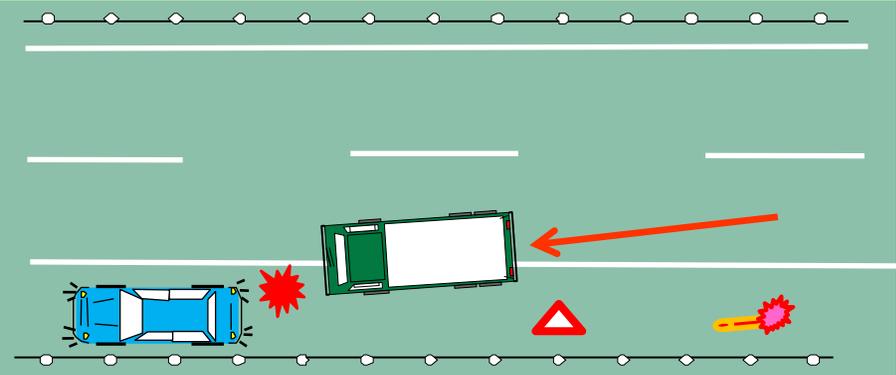


渋滞最後尾が最も危険です！

- 控えめな速度で十分な車間距離をとる
- 常に周囲の状況を見て、予測・防衛運転をする
- 渋滞を発見したら事前に速度を落とす

② 停止車両への衝突事故

交通事故や車両故障等で、路肩や本線に停止している車に脇見の後続車が衝突する事故が多発しています。



路肩でも安心はできません！

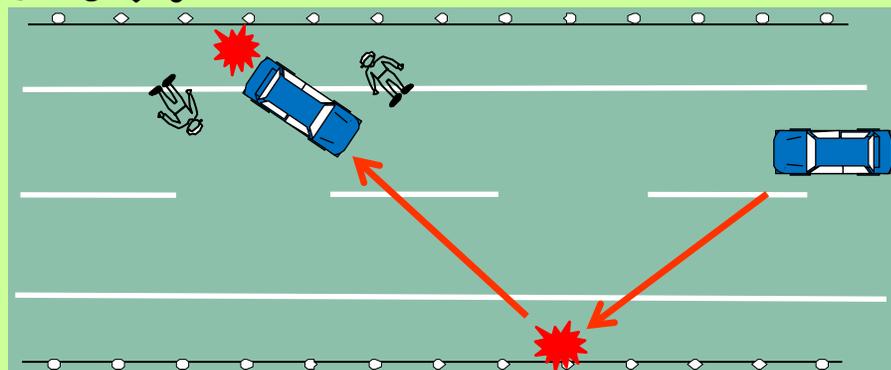
※ 三角表示板や発炎筒を必ず活用して下さい！

- 三角表示板や発炎筒の使用とハザードランプの点灯
- 警察(110)や緊急ダイヤル(#9910)への速やかな通報
- 高速道路上でパンク修理等を行わない



③ 車外放出事故

シートベルトを着用していなかったため、交通事故発生時の衝撃で乗員が車外に飛び出し、亡くなる事故が過去に発生しています。



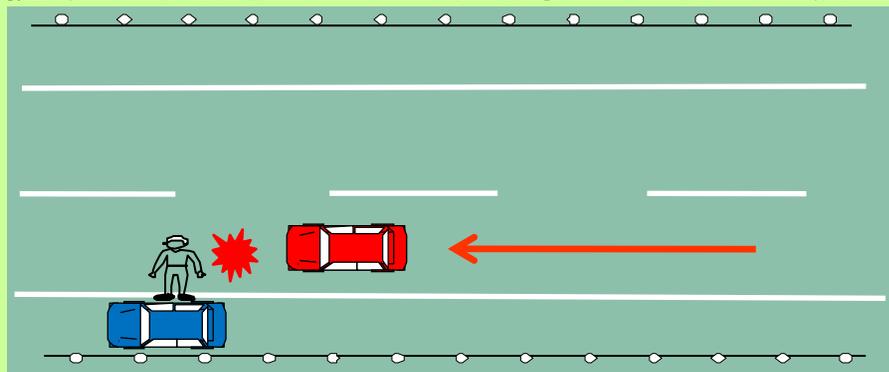
全席シートベルト
常に着用！

- 全席シートベルト着用(特に後部座席)の徹底
- 運転手は全同乗者のシートベルト着用を確認する
- 6歳未満の子供には必ずチャイルドシートを!



④ 歩行者への衝突事故

交通事故や車両故障等で路肩に車を停止させた後、運転手等が本線付近で立っていたり修理作業していたりして、後続車にはねられて亡くなる事故が過去に発生しています。



高速道路でも
人がいないとは
限りません！

- やむを得ず停車した場合はガードレールの外等安全な場所へ直ちに避難し、車内に残らない
- 走行中は案内表示板を確認して、事故車や故障車等に意する